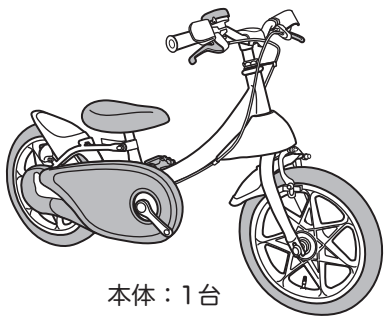
カジー14　組立説明書

本商品は自転車整備士のいるお店で組み立ててください。組み立てていない状態で受け取った場合は、販売店にお問い合わせください。

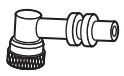
ides

❶梱包内容

組み立てる前に下記の部品が入っているかご確認ください。



本体：1台



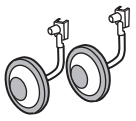
バルブ補助部品：1個

バスケット：1個

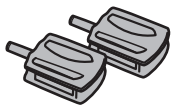
取扱説明書：1冊
ハガキ：1枚

スパナ：1個

キャップ大：2個



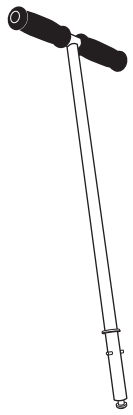
補助車：2個



ペダル：2個

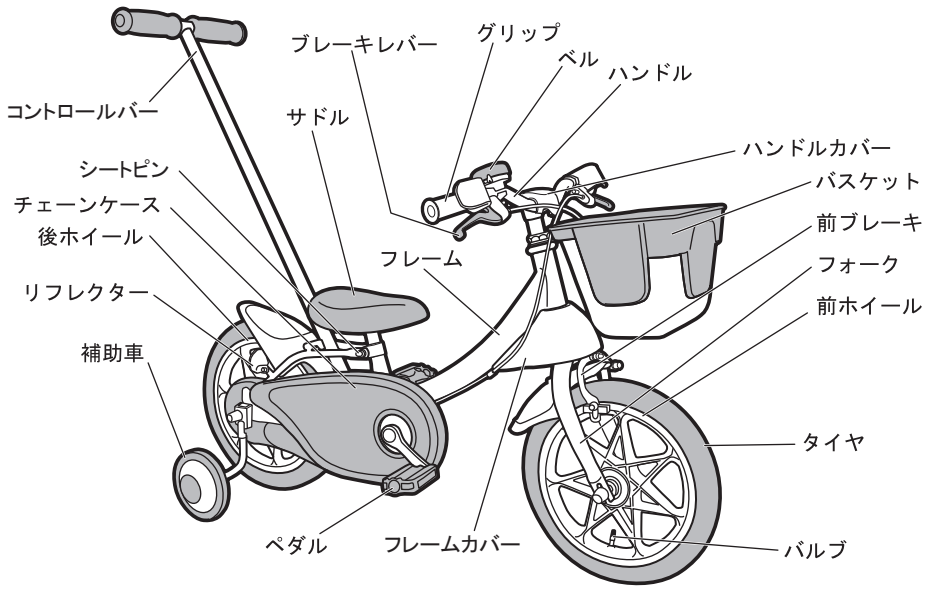
ハンドルカバー：1個

キャップ小：2個



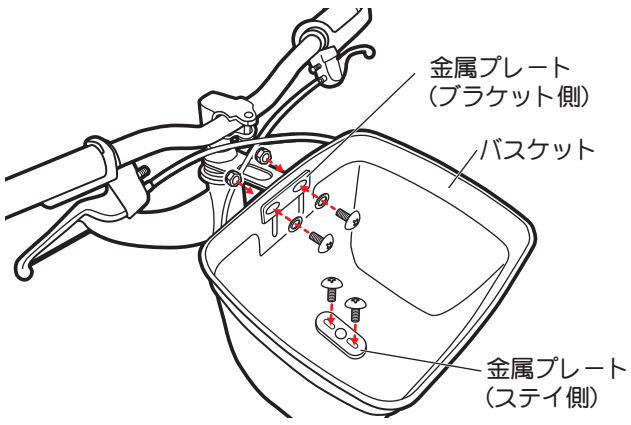
コントロールバー：1本

❷各部の名称



❸バスケットの組み立て方法

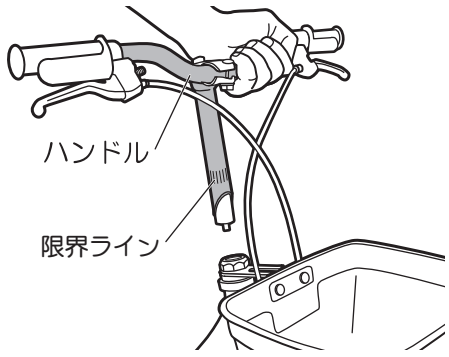
※組み立ては自転車店で行ってください。



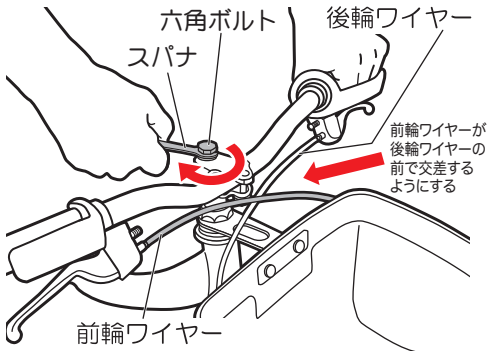
バスケットをブラケット側とステイ側の 2 カ所でネジ止めしてください。その際、金属プレートはバスケットの内側に設置してください。

❹ハンドルの組み立て方法

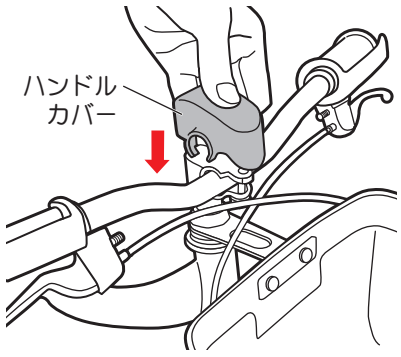
※組み立ては自転車店で行ってください。



1. ハンドルを本体に差し込みます。ハンドルを限界ラインの位置まで差し込んでください。ハンドル高さを調節するときは限界ラインが見えない位置で調節してください。

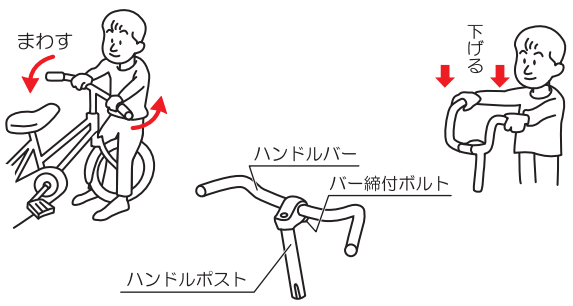


2. 六角ボルトを時計回りに回し、締め付けます。図のように前輪ワイヤーが、後輪ワイヤーの前に交差するように取り付けてください。



3. ハンドル固定確認後、ハンドルカバーをハンドルに押し込んで取り付けてください。

●ハンドル固定の確認方法

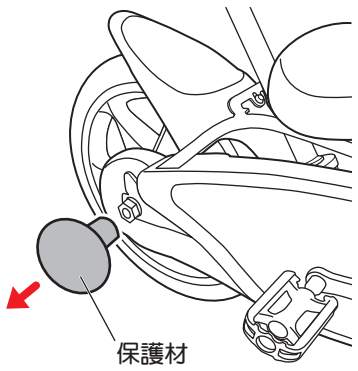


注意
- ●前輪ワイヤーと後輪ワイヤーを引っ張らないでください。ブレーキ調整が悪くなる場合があります。
- ●ブレーキの調整が必要な場合は、必ず自転車店へご依頼ください。

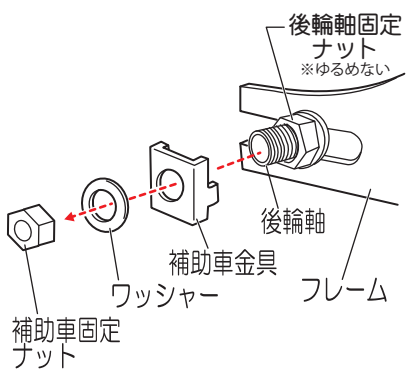
警告
- ●ハンドルの固定不足は危険です。ハンドルのバー締付ボルトとハンドルポストの六角ボルトがゆるいとハンドルが走行中に回って操縦できなくなり転倒事故を起こす恐れがあります。調節後、大人が前車輪を両足で挟んでハンドルを回して、また、ハンドルを押し下げて確認してください。ハンドルは前車輪に対して直角に取り付けてください。

❺補助車の組み立て方法と調整

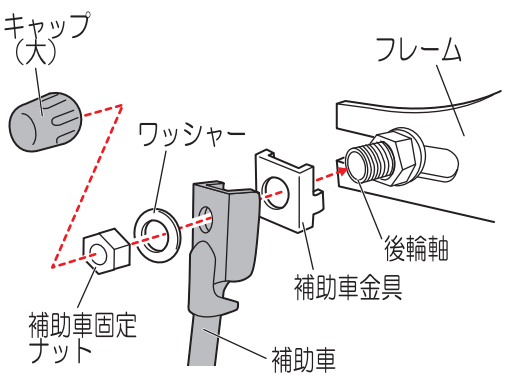
※組み立ては自転車店で行ってください。



1. 商品が箱に入っている場合は後輪軸に保護材が付いているので取り外してください。(保護材を外すとき、回して外すと保護材にナットが付いたまま外れることがあります。)



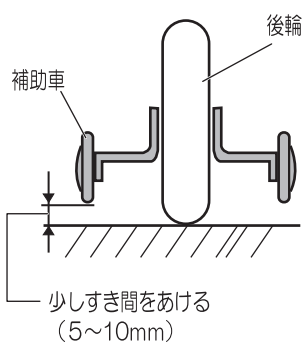
2. 補助車固定ナットをスパナ等でゆるめて、上図のように分解してください。
このとき、後輪軸固定ナットはゆるめないよう注意してください。



3. 上図のように補助車金具とワッシャーの間に補助車を入れ、ナットを締めて固定してください。
補助車固定ナットの適切な締め付けトルクは 30N・m です。締め付けたらキャップをナットの上から取り付けてください。

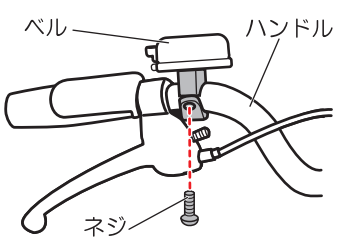
注意
- ●補助輪を取り付けるときは、ナットを締め過ぎないよう注意してください。ナットの締め過ぎにより、まれに後輪軸が破損することがあります。特に電動工具(インパクト等)を使用される場合はご注意ください。
- ●キャップは外れ防止のためきつくできています。ハンマー等を使い軽くたたいてください。
- ●地面と補助車の間にすき間をあけないで固定すると自転車が曲がりにくくなる恐れがあります。

●補助車の調整について



地面から補助車までの間には 5~10mm のすき間をあけて固定してください。

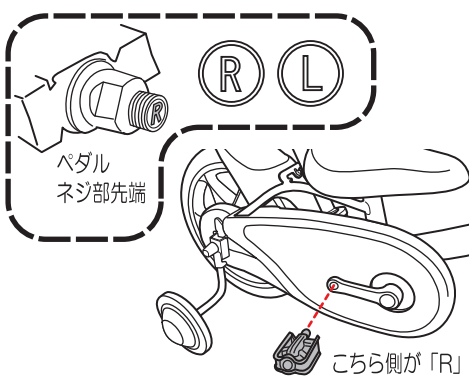
❻ベルの取り付け方法



1. ベルは、ハンドルの鳴らしやすい位置に取り付けてください。
2. 図のようにネジをドライバーで締め付けてください。ベルが固定されます。

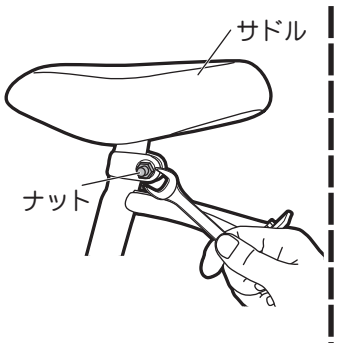
❼ペダルの取り付け方法

※組み立ては自転車店で行ってください。

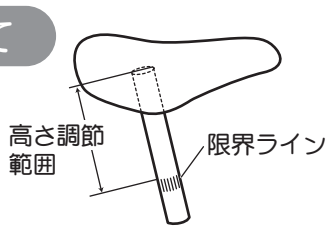


ペダルのネジ部先端に「R」または「L」の表記があります。チェーンカバー側に「R」を取り付け、反対側に「L」を取り付けてください。ペダルの適切な締め付けトルクは 30N・m です。(「L」側のネジは逆ネジになっているのでご注意ください。)

❽サドルの調節について



1. ナットをゆるめ、お子様の体格に合わせサドルの高さを調節します。
ナットを付属のスパナで締め付けてサドルを固定します。ナットの適切な締め付けトルクは 18N・m です。

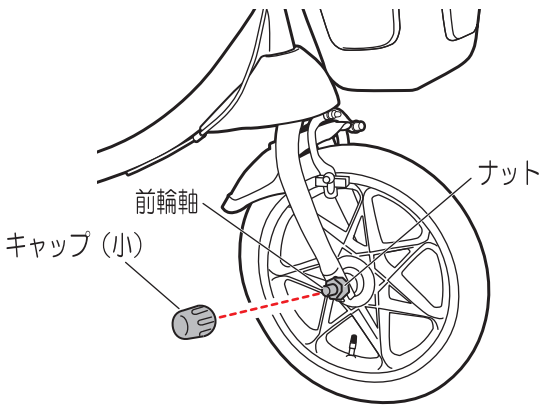


2. サドルの高さを調整したとき、限界ラインが見えないように調節してください。

警告 サドルの固定不足は危険です。

3. 上図のように、縦、横方向に手でサドルを動かして動かないことを確認してください。
サドルの固定がゆるいと走行中に動いて転倒事故を起こす事があり大変危険です。

⑨ 前輪キャップの取り付け方法

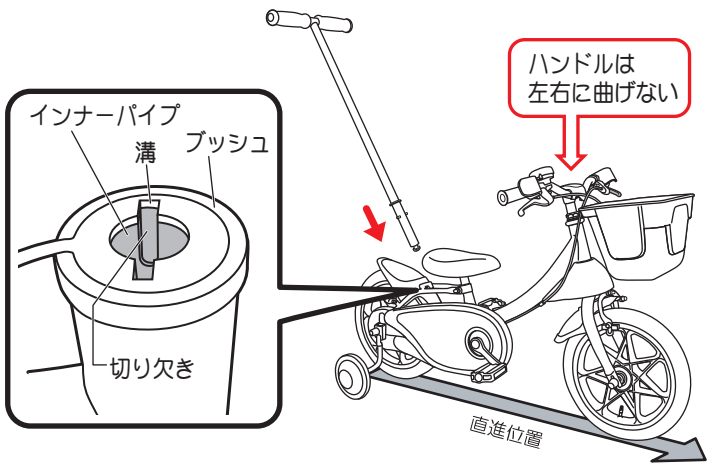


前輪軸のナットの上からキャップ (小) を取り付けてください。

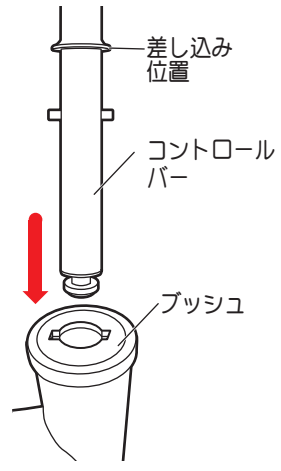
注意
●キャップは外れ防止のため、きつくできています。
ハンマー等を使い軽くたたいてください。

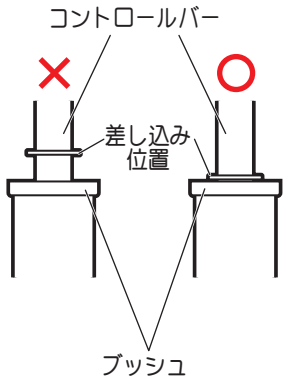
⑩ コントロールバーの取り扱い

●コントロールバーの取り付け方法



1. 前輪（ハンドル）を直進位置 (左右に曲げない) にしてください。
2. ブッシュの溝とインナーパイプの切り欠きが合っていることを確認してください。切り欠きが合っていないと、コントロールバーを正しい位置まで挿入できません。挿入しづらい場合はハンドルの向きを調整しながらコントロールバーを挿入してください。

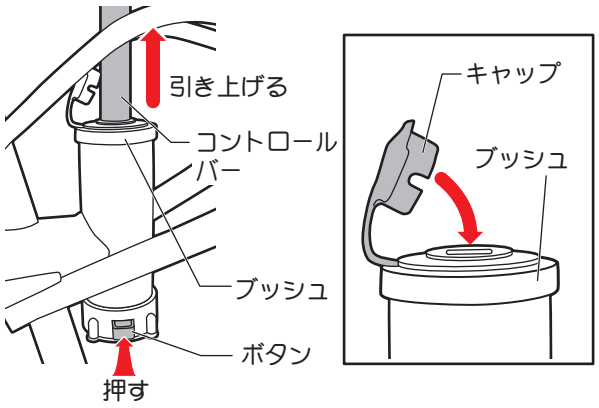




3. コントロールバーをブッシュの溝に合わせて挿し込みます。
コントロールバーの差し込み位置まで挿し込んでください。
コントロールバーがロックされます。

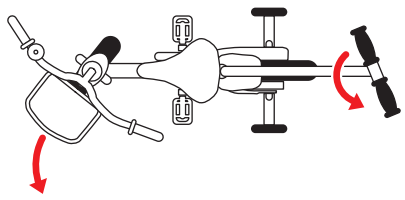
注意
●コントロールバーの取り付けは必ずお子様が乗車しない状態で行ってください。取り付けが完了したらコントロールバーを持ち上げて、抜けないことを確認してください。

●コントロールバーの取り外し方法



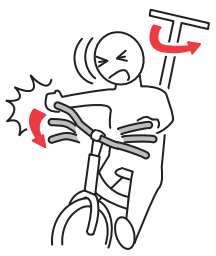
1. 前輪（ハンドル）を直進位置 (左右に曲げない) にしてください。
2. ボタンを押しながら、コントロールバーを上に引き抜きます。抜きづらい場合はハンドルの向きを調整しながらコントロールバーを引き抜いてください。
3. キャップを閉めてください。

●コントロールバーの操作方法

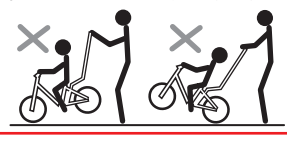


左に曲がる場合はコントロールバーを左に切ります。右に曲がる場合はコントロールバーを右に切ります。

警告
急にコントロールバーをきると大変危険です。
乗車しているお子様が振られて思わぬ転倒や負傷の原因になります。急な操作はしないでください。

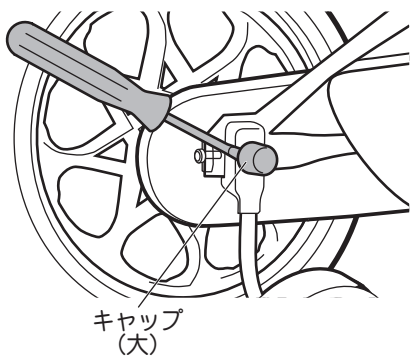


注意
●コントロールバーは自走できない幼児のための補助具です。お子様が自転車をこげるようになりましたら必ず取り外してください。
●コントロールバーの操作は必ず保護者が行い、幼児の足が巻き込まれないように注意してください。
●コントロールバーに物をかけたりすると倒れる恐れがあるので、物をかけないでください。
●コントロールバーで操作する際は寄り掛かったり、過度の荷重をかけたり、急な操作はしないでください。
●幼児、子供にコントロールバーを操作させないでください。
●コントロールバーを乗車補助以外の目的で使用しないでください。乗車補助以外での使用は破損の原因になります。
●コントロールバーを使って前輪または後輪を浮かせることは危険ですのでしないでください。
●コントロールバー使用の際の耐荷重は25kg以下です。

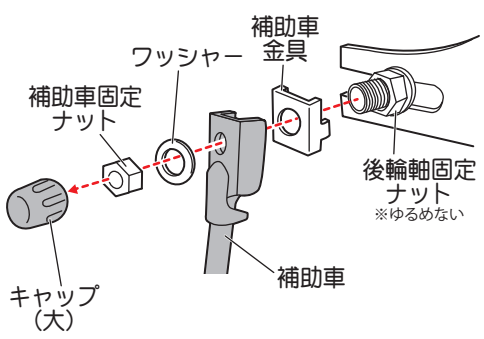


⑪ 補助車の取り外し方法

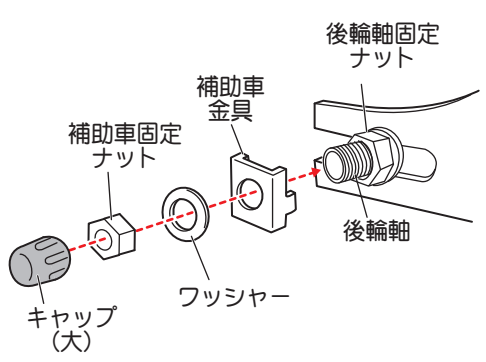
注意 補助車を外した後は後輪軸固定ナットがゆるんでいることがありますので締め直してください。



1. 後輪軸に付いているキャップの付け根にマイナスドライバー等を差込み、キャップを取り外してください。



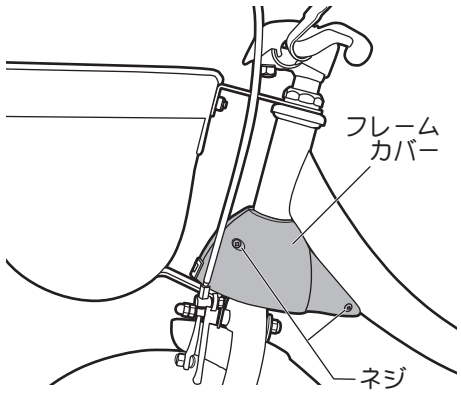
2. 補助車固定ナットをスパナ等でゆるめて、上図のように分解してください。
このとき、後輪軸固定ナットはゆるめないよう注意してください。(ゆるみがある場合は締め付けてください。)



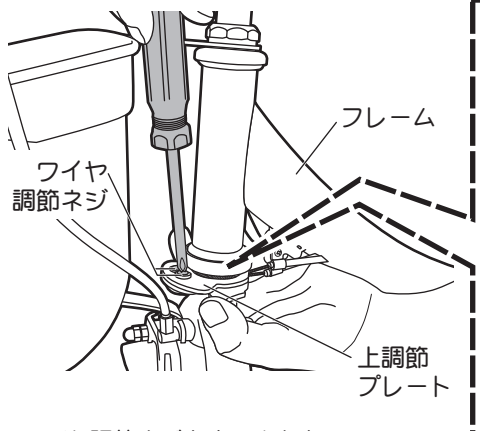
3. 補助車を取り除き補助車金具とワッシャーを付け、補助車固定ナットを締め付け、固定してください。締め付けたらキャップをナットの上から取り付けてください。

⑫ コントロールワイヤの調整方法

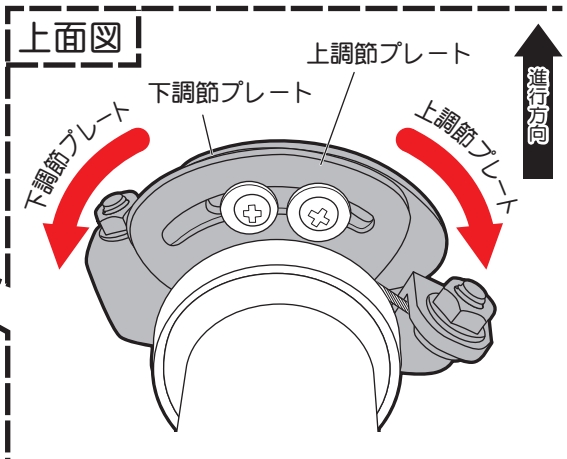
※コントロールワイヤの調整は自転車店で行ってください。



1. フレームカバーに付いている 2 本のネジをゆるめ、カバーを外します。

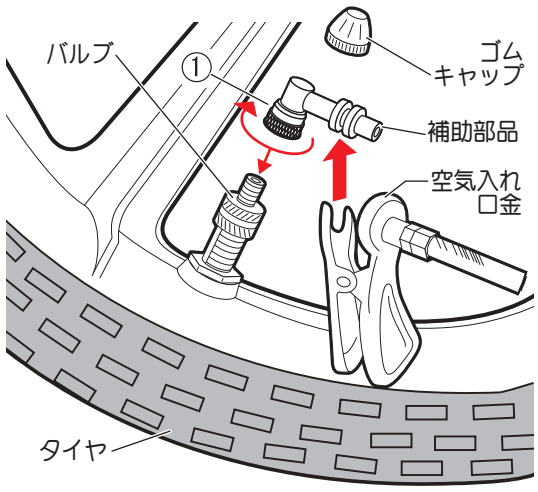


2. ワイヤ調節ネジをゆるめます。
3. コントロールバー、前輪（ハンドル）を直進位置 (左右に曲げない) にしてください。



4. 上調整プレートを時計回りに、下調整プレートを反時計回りに回すと、ワイヤのたるみが取れます。
5. 上記 4 の状態のまま、ワイヤ調節ネジをしっかり締めます。
※ワイヤ調節ネジがゆるいと、コントロール不能になることがあるのでご注意ください。

⑬ タイヤの空気の入れ方



1. ゴムキャップを外します。
2. 付属の補助部品を図のように、①の部分を回しながらバルブに取り付けてください。
3. 空気入れ口金を補助部品に挟みこみ、空気を入れてください。

注意
●空気入れ口金が図のような形であることを確認してください。(その他の形状は合わない場合があります。)
●再度空気を入れる時、補助部品が必要ですので使用後も大切に保管してください。
●タイヤの空気の入れ過ぎにはご注意ください。パンクしたり、走行中にタイヤがホイールから外れる恐れがあります。
●夏場は直射日光のあたる場所や、高温になったアスファルトの上に自転車を放置しないでください。タイヤ内の空気が膨張しパンクしたり、走行中にタイヤがホイールから外れる恐れがあります。

※この商品は、改良のため予告なく外観・仕様を変更する場合がありますのでご了承ください。
※本商品をご使用前に付属の取扱説明書をよくお読みください。
※各部のネジがしっかり締めてあることを確認して乗車してください。